

令和6年度第1回 豊川市子ども・子育て会議 会議録（要約）

令和6年6月24日(月)

午後1時30分から

於：豊川市防災センター 市民研修室

1 委員等紹介

(略)

2 あいさつ（会長）

白垣会長によるあいさつ

(略)

3 議事

(1) 子ども・子育て支援事業の進捗状況について（令和5年度実績）（報告）

【事務局説明の後、主な委員の質疑・意見及び事務局回答・説明】

- ・「子ども・子育て相談事業における心理相談事業における増加傾向の内容について確認させてください。」

(事務局) 少年愛護センターにおける相談件数となりますが、令和3年度が109件、令和4年度が151件、令和5年度が148件となっており、令和3年度から比較すると増加傾向がみられます。

- ・「赤ちゃんの駅事業について件数の修正があったが、評価コメントについても昨年に比べて増減はなかったということでしょうか。」

(事務局) ご意見のとおりです。

(2) 次期計画の策定方針、骨子（案）及びスケジュールについて（審議）

【事務局説明の後、主な委員の質疑・意見及び事務局回答・説明】

- ・先日、新聞やニュースで合計特殊出生率について報じられていたが、全国の平均が1.20、東京都においては0.99という数字が報じられた。豊川市においてはこれよりは良いと思われるものの、2.00を目指さないと人口が減少していくこととなるので、さらなる出生率の向上が必要であると考えます。
- ・昨年の出生数が72万人となっており、5年前と比べても10万人以上の減少となっており、本市においても同様の傾向であると思われるが、この状況から改善を図るために、委員及び事務局がお互いに知恵を出し合っていくことが必要である。
- ・国で新たに設置されたこども家庭庁において、文部科学省の関りが少ない

ように思える。この会議においては学校の関係者の方もお見えになるが、国の方針に従うと、やはり教育関連の内容を盛り込むことは難しいのか。
(事務局) 今後の少子化への対応として、国から示されている「こども未来戦略」を意識しながら取り組んでいく。合計特殊出生率について、本市と県平均を比較した場合、県平均より高い時もあるし、低い時もあるが数値としては徐々に下がってきている。しかしながら、その流れを少しでも改善するため、国の動きを見ながら、第3期計画にも盛り込んで取り組んでまいりたい。

また、国から新たに示された「こどもまんなか実行計画」において、学校に係る施策が多く示されており、子どもに係る施策と文科省の施策が一体になってきているという表れである。先の話となるが「こども計画」の策定にあたっては、そちらの動きも注視しながら取り組んでまいりたい。

(3) 令和6年度保育所整備事業について（報告）

【事務局説明の後、主な委員の質疑・意見なし】

4 その他

(事務局より)

- ・総合保健センター（仮称）整備事業について
- ・次回の会議日程について